



第49回日本神経精神薬理学会年会 (JSNP2019)
第29回日本臨床精神神経薬理学会年会 (JSCNP2019)
第6回アジア神経精神薬理学会大会(AsCNP2019)

2019年10月11日 (金) ~13日 (日)

福岡国際会議場

福岡サンパレスホテル&ホール

募金趣意書

第49回日本神経精神薬理学会年会 (JSNP2019)

会長 宮田 久嗣

(東京慈恵会医科大学 精神医学講座)

第29回日本臨床精神神経薬理学会年会 (JSCNP2019)

会長 吉村 玲児

(産業医科大学 精神医学教室)

第6回アジア神経精神薬理学会大会(AsCNP2019)

会長 池田 和隆

(公益財団法人東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野)

第49回日本神経精神薬理学会 (JSNP2019) ご挨拶

謹 啓

皆様におかれましては益々御盛栄のこととお慶び申し上げます。
平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、このたび、第49回日本神経精神薬理学会年會を2019年10月12日（土）と13日（日）の2日間に福岡国際会議場において開催させていただくこととなりました。本学会は、設立当初より基礎研究者と臨床医が連携して、精神神経疾患の病態解明と治療薬の開発に中心的役割を果たしてきました。加えて、今回は、精神薬理学領域で躍進の目覚ましいアジアの神経精神薬理学会（AsCNP：Asian College of Neuropsychopharmacology、2019年10月11日（金）から13日（日）の3日間）と、臨床の視点を重視した日本臨床精神神経薬理学会（JSCNP：2019年10月11日（金）と12日（土）の2日間）と同時開催をさせていただきます。日本のみならず、アジアの各国の研究者、医療従事者、製薬企業関係者、規制当局関係者等が一堂に会し、日頃の活動を報告し、意見交換し、さらに大きな発展を目指す場になることを望んでおります。

本年會のテーマは「薬物・精神・行動を紡ぐもの」とさせていただきました。人のこころである“精神”、その表現型である“行動”、こころに作用し治療の武器となる“薬物”の三つのキーワードから始まった本学会の志を確認しつつ、次の時代に向けての議論をアジアの方々と熱く語れるような年會にできればと思っています。いまや精神神経疾患は、小児の発達障害などから、成人期のさまざまな精神疾患、そして老年期の認知症と、人類の最大の課題といえます。このような大きな目標を前にして、学会員の総力をあげて年會を運営する所存ではございますが、質素儉約を旨として運営を行いましても、昨今の諸費用高騰のため、開催の目的を達成するためには、会場の設営や学会の運営に多大の費用を要し、諸費用の不足が見込まれております。つきましては、厳しい状況のなか、甚だ恐縮ではございますが、本年會開催の趣意とその医学的意義についてご賛同いただき、ご支援、ご援助、ご寄付を賜りたく、ここにお願ひ申し上げる次第です。なお、ご寄付・協賛の金額につきましては、御社の指針に沿って公開されることを承諾いたします。

諸般の事情をご賢察いただき、ご高配賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

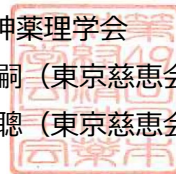
謹 白

2018年（平成30年）4月吉日

第49回日本神経精神薬理学会

年 会 長：宮田 久嗣（東京慈恵会医科大学 精神医学講座・教授）

事務局長：小高 文聰（東京慈恵会医科大学 精神医学講座・講師）



第29回日本臨床精神神経薬理学会年会 ご挨拶

謹 啓

皆様方におかれましては益々御健勝こととお慶び申し上げます。
平素より格別のご支援を賜りまして、ここに厚く御礼を申し上げます。

このたび、第29回日本臨床精神神経薬理学会年会を2019年10月11日（金曜日）と12日（土曜日）の2日間に福岡国際会議場において開催させていただくこととなりました。この学会は、精神薬理学に役立つ臨床の実証科学的知見を確立することを目標に日本の臨床精神神経薬理学を牽引してきました。この学会は、臨床という土俵に軸足を据えています。症例報告を大事にするということも本学会の大きな特徴でもありましょう。精神科医をはじめ、薬剤師、精神神経薬理学研究者、製薬企業などの本学会への注目はますます増加しています。今回の年会は急成長を遂げているアジア神経精神薬理学会（AsCNP：Asian College of Neuropsychopharmacology、2019年10月11日（金曜日）から13日（日曜日）の3日間開催）と、臨床精神神経薬理学の土台を支えている基礎精神神経薬理に軸足を置いた日本神経精神薬理学会（JSCNP：2019年10月12日（土曜日）と13日（日曜日）の2日間開催）と同時開催となります。参加者の皆様方には現在の臨床精神神経薬理学の最先端の知見を提供できると確信いたしております。また基礎神経薬理やアジア諸国の薬物治療の知識なども同時に知ることができる貴重な機会であります。

本年会のテーマは「くすりからころをかんがえる」といたしました。ころの病の原因はよくわかっていませんが、くすりは人のころに変化を及ぼすことができます。くすりはころにどのように働くのか？ころの回復にどのように寄与するのか？これらの疑問を皆で熱く議論したいという思いをこのテーマに込めました。大勢の皆様が来福され、情報交換して、その成果がころの病に苦しむ方々のお役に少しでも立てればと強く願う次第です。学会員の総力をあげて年会を運営する所存ではございますが、極力質素節約を旨として運営を行いましても、昨今の諸費用高騰のため、学会を成功裏に導くための費用の不足が予想されています。つきましては、厳しい状況のなか、甚だ恐縮ではございますが、本年会開催の趣意とその医学的意義についてご賛同いただき、ご支援、ご援助、ご寄付を賜りたく、ここにお願い申し上げます。なお、ご寄付・協賛の金額につきましては、御社の指針に沿って公開されることを承諾いたします。

諸般の事情をご賢察いただき、ご高配賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

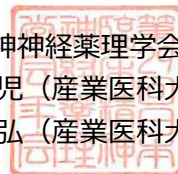
謹 白

2018年（平成30年）4月吉日

第29回日本臨床精神神経薬理学会

年 会 長：吉村 玲児（産業医科大学 精神医学教室・教授）

事務局長：新開 隆弘（産業医科大学 精神医学教室・准教授/医局長）



第6回アジア神経精神薬理学会大会 (AsCNP2019) ご挨拶

謹 啓 貴社益々御隆昌のこととお慶び申し上げます。

この度、第6回アジア神経精神薬理学会 (AsCNP: Asian College of Neuropsychopharmacology)大会を、2019年10月11日 (金) から13日 (日) の3日間に、福岡国際会議場において開催させていただくこととなりました。本大会のメインテーマは「Neuropsychopharmacology to the next generation: New wave from Asia (次世代へ向けた神経精神薬理学: アジアからの新たな波)」とさせていただきます。経済発展著しいアジアにおいて、精神・神経疾患の薬物療法はますます重要性を増しております。従来、中枢神経系用薬の多くは欧米人向けに開発されており、今後はよりアジア人に適した中枢神経系用薬を開発し、アジア人に適した用量用法を見出していくことが求められております。本大会では、今後ますます中枢神経系用薬を必要とするアジアの次世代のためになる神経精神薬理学を目指し、その成果を世界に発信して参ります。

AsCNPは、アジアにおける中枢神経系用薬の作用機序の解明、新薬の開発、さらに治療薬の適正使用の必要性が高まったことを受け、2008年10月に設立されました。AsCNPの使命は、精神・神経疾患に対する薬物療法の開発・改良を推進するとともに、患者と家族を救うための知識・技術について教育・研修の機会を作ることです。2009年に京都、2011年にソウル、2013年に北京、2015年に台北、2017年にパリ (インドネシア) でそれぞれ大会を開催し、会員数は3000名を超え、上記使命を果たしつつあります。

本大会では、AsCNP加盟学会である日本神経精神薬理学会 (JSNP) と日本臨床精神神経薬理学会 (JSCNP) の年会も同時に開催いたします。また、他の加盟学会などの企画等も本大会と連動して計画されております。本大会では、アジアの多くの研究者、医療従事者、製薬企業関係者、規制当局関係者等が一堂に会し、日頃それぞれで進めている活動を総合し、大きな発展を目指します。関連領域におけるアジアの英知が集まり、さらに神経精神薬理学の世界的リーダーも迎えることで、中枢神経系用薬に関係する広い分野での革新的な展開がなされるものと確信しております。

本来ならば大会の開催につきましては、参加費等の自己資金で賄うべきところですが、開催の目的を達成するには、会場設営や大会運営に多額の費用を要し、諸費用の不足が見込まれております。つきましては、厳しい状況の中、甚だ恐縮ではございますが、本大会の開催の意義と事情をご賢察の上、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、寄付金額につきましては、各社の指針に沿って公表されることを了承いたします。

謹 白

2018年 (平成30年) 4月吉日

第6回アジア神経精神薬理学会大会

大会長: 池田和隆 (東京都医学総合研究所精神行動医学研究分野・分野長)

副大会長: 下田和孝 (獨協医科大学精神神経医学講座・教授)

染矢俊幸 (新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野・教授)

連携局長: 内田裕之 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室・講師)

事務局長: 笠井慎也 (東京都医学総合研究所精神行動医学研究分野・主席研究員)

開催概要

1. 名称

第49回日本神経精神薬理学会 (JSNP2019)
第29回日本臨床精神神経薬理学会 (JSCNP2019)
第6回アジア神経精神薬理学会大会 (AsCNP2019)

2. 会期

第29回日本臨床精神神経薬理学会 (JSCNP2019)	2019年10月11日 (金)、12日 (土)
第49回日本神経精神薬理学会 (JSNP2019)	2019年10月12日 (土)、13日 (日)
第6回アジア神経精神薬理学会大会 (AsCNP2019)	2019年10月11日 (金)～13日 (日)

3. 会場

福岡国際会議場 (〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町2-1)
福岡サンパレス ホテル&ホール (〒812-0021 福岡市博多区築港本町2-1)

4. 主催

日本神経精神薬理学会 Japanese Society of Neuropsychopharmacology (JSNP)
日本臨床精神神経薬理学会 Japanese Society of Clinical Neuropsychopharmacology (JSCNP)
アジア神経精神薬理学会 Asian College of Neuropsychopharmacology (AsCNP)

5. 大会テーマ

第49回日本神経精神薬理学会 (JSNP2019)
「薬物・精神・行動を紡ぐもの」
第29回日本臨床精神神経薬理学会 (JSCNP2019)
「くすりからこころをかんがえる」
第6回アジア神経精神薬理学会大会 (AsCNP2019)
「Neuropsychopharmacology to the next generation: New wave from Asia」

6. 主なプログラム (予定)

- ・ 特別講演
- ・ 会長講演
- ・ シンポジウム
- ・ 教育セミナー
- ・ 一般口演、ポスター発表
- ・ ランチョンセミナー
- ・ スポンサーシンポジウム
- ・ 機器 試薬 書籍 等展示会

7. 予定参加者数

2,000名 (3学会合計)

8. 大会組織

第49回日本神経精神薬理学会 (JSNP2019)

年会長 宮田 久嗣 (東京慈恵会医科大学 精神医学講座)
事務局長 小高 文聡 (東京慈恵会医科大学 精神医学講座)

第49回日本神経精神薬理学会年会 (JSNP2019) 組織委員

委員長 井上 猛 (東京医科大学 精神医学分野)

委員

石郷岡 純 (CNS 薬理研究所)	岩波 明 (昭和大学)
稲田 俊也 (名古屋大学)	上野 修一 (愛媛大学)
井上 幸紀 (大阪市立大学)	内村 直尚 (久留米大学)
岩田 仲生 (藤田保健衛生大学)	大久保 善朗 (日本医科大学)

大森 哲郎 (徳島大学)
尾崎 紀夫 (名古屋大学)
笠井 清登 (東京大学)
川崎 弘詔 (福岡大学)
神庭 重信 (九州大学)
岸岡 史郎 (和歌山県立医科大学)
岸本 年史 (奈良県立医科大学)
久住一郎 (北海道大学)
塩入 俊樹 (岐阜大学)
下田 和孝 (獨協医科大学)
白川 治 (近畿大学)
鈴木 道雄 (富山大学)
仙波 純一 (さいたま市立病院)
染矢 俊幸 (新潟大学)
寺尾 岳 (大分大学)
中込 和幸 (国立精神・神経医療研究センター)
中村 和彦 (弘前大学)

成本 迅 (京都府立医科大学)
西川 徹 (東京医科歯科大学)
西村 勝治 (東京女子医科大学)
福田 正人 (群馬大学)
松永 寿人 (兵庫医科大学)
三村 将 (慶應義塾大学)
宮岡 等 (北里大学)
村井 俊哉 (京都大学)
森信 繁 (吉備国際大学)
矢部 博興 (福島県立医科大学)
山末 英典 (浜松医科大学)
山田 和男 (東北医科薬科大学)
山田 了士 (岡山大学)
山脇 成人 (広島大学)
米田 博 (大阪医科大学)
鷲塚 伸介 (信州大学)
渡邊 衡一郎 (杏林大学)

※敬称略 50音順

第49回日本神経精神薬理学会年会 プログラム委員

委員長 小高 文聰 (東京慈恵会医科大学 精神医学講座)

委員

稲田 健 (東京女子医科大学)
内田 裕之 (慶應義塾大学)
大隅 典子 (東北大学)
大坪 天平 (東京女子医科大学)
岡本 泰昌 (広島大学)
加藤 忠史 (理化学研究所)
加藤 総夫 (東京慈恵会医科大学)
加藤 正樹 (関西医科大学)
金田 勝幸 (金沢大学)
菊地 哲朗 (大塚製薬・Qs'研究所)
岸 太郎 (藤田保健衛生大学)
岸本 泰士郎 (慶應義塾大学)
鬼頭 伸輔 (東京慈恵会医科大学)
齋藤 卓弥 (北海道大学)
須原 哲也 (放射線医学総合研究所)
住吉 太幹 (国立精神・神経医療研究センター)
曾良 一郎 (神戸大学)
高田 孝二 (帝京大学)
高橋 英彦 (京都大学)
武田 弘志 (国際医療福祉大学)
徳山 尚吾 (神戸学院大学)
戸田 重誠 (昭和大学)
中川 貴之 (京都大学)
永井 拓 (名古屋大学)
成田 年 (星薬科大学)
新田 淳美 (富山大学)
橋本 健二 (千葉大学)
橋本 亮太 (国立精神・神経医療研究センター)
廣中 直行 (LSI メディエンス)
船田 正彦 (国立精神・神経医療研究センター)
古屋敷 智之 (神戸大学)
南 雅文 (北海道大学)
宮川 剛 (藤田保健衛生大学)
山田 清文 (名古屋大学)
吉岡 充弘 (北海道大学)

※敬称略 50音順

第29回日本臨床精神神経薬理学会 (JSCNP2019)

年会長 吉村 玲児 (産業医科大学 精神医学教室)

事務局長 新開 隆弘 (産業医科大学 精神医学教室)

第29回日本臨床精神神経薬理学会 (JSCNP2019) プログラム委員

岩田 仲生 (藤田保健衛生大学)

木下 利彦 (関西医科大学)

上野 修一 (愛媛大学)

久住 一郎 (北海道大学)

内田 裕之 (慶應義塾大学)

佐野 輝 (鹿児島大学)

内村 直尚 (久留米大学)

下田 和孝 (獨協医科大学)

大谷 浩一 (山形大学)

白川 治 (近畿大学)

大森 哲郎 (徳島大学)

鈴木 雄太郎 (新潟大学)

岡本 泰昌 (広島大学)

染矢 俊幸 (新潟大学)

尾崎 紀夫 (名古屋大学)

寺尾 岳 (大分大学)

小澤 寛樹 (長崎大学)

福田 正人 (群馬大学)

加藤 正樹 (関西医科大学)

古郡 規雄 (弘前大学)

川崎 弘詔 (福岡大学)

三原 一雄 (琉球大学)

河西 千秋 (札幌医科大学)

渡邊 衡一郎 (杏林大学)

神庭 重信 (九州大学)

※敬称略 50音順

第6回アジア神経精神薬理学会大会 (AsCNP2019)

大会長 池田 和隆 (公益財団法人東京都医学合研究所 精神行動医学研究分野)

副会長 下田 和孝 (獨協医科大学 精神神経医学講座)

染矢 俊幸 (新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野)

連携局長 内田 裕之 (慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室・講師)

事務局長 笠井 慎也 (公益財団法人東京都医学合研究所 精神行動医学研究分野)

第6回アジア神経精神薬理学会大会 (AsCNP2019)組織委員

委員長 神庭 重信 (九州大学)

委員

明智 龍男 (名古屋市立大学)

稲垣 中 (青山学院大学)

朝倉 聡 (北海道大学)

稲田 俊也 (名古屋大学)

浅沼 幹人 (岡山大学)

井上 幸紀 (大阪市立大学)

伊賀 淳一 (愛媛大学)

井上 猛 (東京医科大学)

池田 和隆 (東京都医学総合研究所)

伊豫 雅臣 (千葉大学)

池田 匡志 (藤田保健衛生大学)

岩崎 克典 (福岡大学)

池田 学 (大阪大学)

岩田 仲生 (藤田保健衛生大学)

石毛久美子 (日本大学)

岩田 修永 (長崎大学)

石郷岡 純 (代々木メンタルクリニック/CNS薬理研究所)

岩波 明 (昭和大学)

石田 康 (宮崎大学)

上園 保仁 (国立がん研究センター)

石原 武士 (川崎医科大学)

上野 修一 (愛媛大学)

井関 雅子 (順天堂大学)

内田 裕之 (慶應義塾大学)

一瀬 宏 (東京工業大学)

内富 庸介 (国立がん研究センター)

糸川 昌成 (東京都医学総合研究所)

内村 直尚 (久留米大学)

大久保善朗 (日本医科大学)
 大隅 典子 (東北大学)
 大谷 恭平 (神戸市立医療センター中央市民病院)
 大谷 浩一 (山形大学)
 大塚耕太郎(岩手医科大学)
 大塚 稔久 (山梨大学)
 大坪 天平 (東京女子医科大学)
 大野 行弘 (大阪薬科大学)
 大森 哲郎 (徳島大学)
 岡澤 均 (東京医科歯科大学)
 岡田 元宏 (三重大学)
 岡本 仁 (理化学研究所)
 岡本 泰昌 (広島大学)
 奥川 学 (関西医科大学附属枚方病院)
 尾崎 紀夫 (名古屋大学)
 小澤 寛樹 (長崎大学)
 尾関 祐二 (獨協医科大学)
 小野 久江 (関西学院大学)
 笠井 清登 (東京大学)
 加藤 忠史 (理化学研究所)
 加藤 進昌 (神経研究所)
 加藤 正樹 (関西医科大学)
 角谷 寛 (滋賀医科大学)
 金子 周司 (京都大学)
 兼田 康宏 (岩城クリニック)
 兼本 浩祐 (愛知医科大学)
 鎌田 光宏 (所沢慈光病院)
 川崎 弘詔 (福岡大学)
 河西 千秋 (札幌医科大学)
 神庭 重信 (九州大学)
 菊地 哲朗 (大塚製薬株式会社Q s '研究所)
 菊地 俊暁 (日本医療研究開発機構)
 岸 太郎 (藤田保健衛生大学)
 岸本泰士郎 (慶應義塾大学)
 岸本 年史 (奈良県立医科大学)
 喜田 聡 (東京農業大学)
 北市 清幸 (岐阜薬科大学)
 木下 利彦 (関西医科大学)
 久住 一郎 (北海道大学)
 功刀 浩 (国立精神・神経医療研究センター)
 熊野 宏昭 (早稲田大学)
 黒木 俊秀 (九州大学)
 小泉 修一 (山梨大学)
 小出 剛 (国立遺伝学研究所)
 小高 文聰 (東京慈恵会医科大学)
 小林 和人 (福島県立医科大学)
 小山 司 (大谷地病院)
 近藤 毅 (琉球大学)
 三枝 禎 (日本大学)
 齊藤 卓弥 (北海道大学)
 齋藤 利和 (幹メンタルクリニック)
 齋藤まなぶ (弘前大学医学部附属病院)
 笹 征史 (渚クリニック)
 佐藤 公道 (京都大学)
 佐藤 光源 (東北大学/高岡病院)
 佐野 輝 (鹿児島大学)
 佐藤 靖 (弘前大学)
 猿渡 淳二 (熊本大学)
 篠崎 和弘 (浅香山病院)
 清水 栄司 (千葉大学)
 下田 和孝 (獨協医科大学)
 白川 治 (近畿大学)
 白山 幸彦 (帝京大学)
 新開 隆弘 (産業医科大学)
 菅原 典夫 (国立精神・神経医療研究センター)
 鈴木 昭仁 (山形大学)
 鈴木 健文 (井之頭病院)
 鈴木 勉 (星薬科大学)
 鈴木 道雄 (富山大学)
 鈴木雄太郎 (新潟大学)
 須田 史朗 (自治医科大学)
 須原 哲也 (放射線医学総合研究所)
 住吉 太幹 (国立精神・神経医療研究センター)
 染矢 俊幸 (新潟大学)
 曾良 一郎 (神戸大学)
 高木 博敬 (西毛病院)
 高田 孝二 (帝京大学)
 高橋 英彦 (京都大学)
 高橋 良輔 (京都大学)
 高濱 和夫 (熊本保健科学大学)
 田熊 一敞 (大阪大学)
 内匠 透 (理化学研究所)
 嶽北 佳輝 (関西医科大学)
 武田 雅俊 (藍野大学)
 千葉 茂 (旭川医科大学)
 津田 誠 (九州大学)
 寺尾 岳 (大分大学)
 土井 永史 (茨城県立こころの医療センター)

徳山 尚吾 (神戸学院大学)
 富田 哲 (弘前大学)
 富田 博秋 (東北大学)
 中川 伸 (山口大学)
 中込 和幸 (国立精神・神経医療研究センター)
 長瀬 博 (筑波大学)
 仲田 義啓 (広島大学)
 中村 純 (北九州病院/北九州古賀病院)
 中村 祐 (香川大学)
 成田 年 (星薬科大学)
 西 昭徳 (久留米大学)
 西岡玄太郎 (川口病院)
 西川 徹 (東京医科歯科大学)
 西口 直希 (向陽病院)
 西村 勝治 (東京女子医科大学)
 新田 淳美 (富山大学)
 丹羽 真一 (福島県立医科大学)
 沼田 周助 (徳島大学)
 野田 幸裕 (名城大学)
 野村 靖幸 (久留米大学)
 橋本 謙二 (千葉大学)
 橋本 均 (大阪大学)
 橋本 亮太 (国立精神・神経医療研究センター)
 服部 信孝 (順天堂大学)
 馬場 元 (順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院)
 樋口 輝彦 (六番町メンタルクリニック)
 尾藤 晴彦 (東京大学)
 平井 宏和 (群馬大学)
 平松 正行 (名城大学)
 平安 良雄 (横浜市立大学)
 廣中 直行 (株式会社 LSI メディエンス)
 福田 謙一 (東京歯科大学)
 福田 正人 (群馬大学)
 福永 浩司 (東北大学)
 古川 壽亮 (京都大学)
 古郡 規雄 (弘前大学)
 古屋敷智之 (神戸大学)
 堀 輝 (産業医科大学)
 堀口 淳 (島根大学)
 松田 哲也 (玉川大学)
 松永 寿人 (兵庫医科大学)
 松元 健二 (玉川大学)
 三浦 至 (福島県立医科大学)
 三浦 昌朋 (秋田大学)
 溝口 広一 (東北医科薬科大学)
 南 雅文 (北海道大学)
 三原 一雄 (琉球大学)
 三村 将 (慶應義塾大学)
 宮岡 等 (北里大学)
 宮川 剛 (藤田保健衛生大学)
 宮田 久嗣 (東京慈恵会医科大学)
 村井 俊哉 (京都大学)
 村崎 光邦 (CNS 薬理研究所)
 森 寿 (富山大学)
 森岡 徳光 (広島大学)
 森信 繁 (吉備国際大学)
 門司 晃 (佐賀大学)
 安川 節子 (八代更生病院)
 谷内 一彦 (東北大学)
 矢部 博興 (福島県立医科大学)
 山口 重樹 (獨協医科大学)
 山末 英典 (浜松医科大学)
 山田 和男 (東北医科薬科大学病院)
 山田 清文 (名古屋大学)
 山田 了士 (岡山大学)
 山田 光彦 (国立精神・神経医療研究センター)
 山脇 成人 (広島大学)
 油井 邦雄 (藤田医科大学)
 吉尾 隆 (東邦大学)
 吉岡 充弘 (北海道大学)
 吉川 武男 (理化学研究所)
 吉村 匡史 (関西医科大学)
 吉村 玲児 (産業医科大学)
 米田 博 (大阪医科大学)
 米田 幸雄 (金沢大学)
 渡邊衡一郎 (杏林大学)
 渡辺 茂 (慶應義塾大学)
 渡邊 崇 (獨協医科大学)
 渡辺 範雄 (京都大学)
 Won-Myong Bahk (The Catholic University of Korea, Korea)
 Ya Mei Bai (National Yang-Ming University, Taiwan)
 Yu Hai Eric Chen (The University of Hong Kong, China)
 Lih-Chu Chiou (National Taiwan University, Taiwan)
 Yuan-Hwa Chou (Taipei Veterans General Hospital, China)
 Young-Chul Chung (Chonbuk National University Medical School, Korea)
 Brian Dean (Swinburne University, Australia)
 Yanling He (Shanghai Jiao Tong University, China)
 Chan Hyung Kim (Yonsei University College of Medicine, Korea)

Euitae Kim (Seoul National University College of Medicine, Korea)
Jun Soo Kwon (Seoul National University Hospital, Korea)
Shih-Ku Lin (Taipei City Hospital and Psychiatric Center, Taiwan)
Roumen Milev (Queen's University, Canada)
Kyung Joon Min (Chung-Ang University Hospital, Korea)
Naren P. Rao (National Institute of Mental Health and Neurosciences, India)
Winston W. Shen (Taipei Medical University, Taiwan)
Tianmei Si (Peking University, China)

Tung-Ping Tom Su (National Yang-Ming University, Taiwan)
Suresh Sundram (Monash University, Australia)
Chay Hoon Tan (National University of Singapore, Singapore)
Andi J. Tanra (Hasanuddin University, Indonesia)
Yen Kuang Yang (National Cheng Kung University, Taiwan)
Xin Yu (Peking University, China)
Gang Zhu (China Medical University, China)

※敬称略 50音順

第6回アジア神経精神薬理学会大会 (AsCNP2019)プログラム委員

委員長 橋本 亮太 (国立精神・神経医療研究センター)

委員

池田 和隆 (東京都医学総合研究所)

内田 裕之 (慶應義塾大学)

笠井 慎也 (東京都医学総合研究所)

小高 文聰 (東京慈恵会医科大学)

下田 和孝 (獨協医科大学)

新開 隆弘 (産業医科大学)

染矢 俊幸 (新潟大学)

中林 哲夫 (医薬品医療機器総合機構)

新田 淳美 (富山大学)

橋本 亮太 (国立精神・神経医療研究センター)

宮川 剛 (藤田保健衛生大学)

宮田 久嗣 (東京慈恵会医科大学)

山脇 成人 (広島大学)

吉村 玲児 (産業医科大学)

Chan-Hyung Kim (Yonsei University College of Medicine, Korea)

Shih-Ku Lin (Taipei City Hospital and Psychiatric Center, Taiwan)

Roumen Milev (Queen's University, Canada)

Naren P. Rao (National Institute of Mental Health and Neurosciences, India)

Tung-Ping Tom Su (Cheng-Hsin General Hospital / National Yang-Ming University, Taiwan)

Suresh Sundram (Monash University, Australia)

Chay Hoon Tan (National University of Singapore, Singapore)

Andi J. Tanra (Hasanuddin University, Indonesia)

Xin Yu (Peking University, China)

※敬称略 50音順

9. 収支予算案 (2019年5月現在)

※3学会の同時開催であり、プログラムの企画や会場の運営は各学会の独立性を確保して行いますが、会計は一会計で行います。

<収入の部>				
項目	数量	単価	合計	備考
1.参加登録費	2000名		43,860,000	
事前登録	1550名		34,625,000	
AsCNP会員(Early Bird Registration)	500名	37,000	18,500,000	※懇親会費を含む
AsCNP会員(Developing Countries/Early Bird Registration)	150名	22,000	3,300,000	※懇親会費を含む
AsCNP非会員(Early Bird Registration)	30名	47,000	1,410,000	※懇親会費を含む
AsCNP非会員(Developing Countries/Early Bird Registration)	10名	32,000	320,000	※懇親会費を含む
AsCNP学生会員(Early Bird Registration)	15名	8,000	120,000	※懇親会費を含む
AsCNP学生非会員(Early Bird Registration)	5名	11,000	55,000	※懇親会費を含む
AsCNP会員	50名	40,000	2,000,000	※懇親会費を含む
AsCNP会員(Developing Countries)	50名	25,000	1,250,000	※懇親会費を含む
AsCNP非会員	20名	50,000	1,000,000	※懇親会費を含む
AsCNP非会員(Developing Countries)	5名	35,000	175,000	※懇親会費を含む
AsCNP学生会員	10名	10,000	100,000	※懇親会費を含む
AsCNP学生非会員	5名	13,000	65,000	※懇親会費を含む
会員	500名	9,000	4,500,000	※AsCNPプログラムには参加不可
非会員	100名	15,000	1,500,000	※AsCNPプログラムには参加不可
学生会員	80名	3,000	240,000	※AsCNPプログラムには参加不可
学生非会員	10名	4,000	40,000	※AsCNPプログラムには参加不可
Accompanying Person	10名	5,000	50,000	
当日登録	450名		9,235,000	
AsCNP会員	80名	45,000	3,600,000	※懇親会費を含む
AsCNP会員(Developing Countries)	20名	30,000	600,000	※懇親会費を含む
AsCNP非会員	20名	55,000	1,100,000	※懇親会費を含む
AsCNP非会員(Developing Countries)	5名	40,000	200,000	※懇親会費を含む
AsCNP学生会員	10名	15,000	150,000	※懇親会費を含む
AsCNP学生非会員	5名	18,000	90,000	※懇親会費を含む
会員	150名	10,000	1,500,000	※AsCNPプログラムには参加不可
非会員	100名	18,000	1,800,000	※AsCNPプログラムには参加不可
学生会員	50名	3,000	150,000	※AsCNPプログラムには参加不可
学生非会員	5名	4,000	20,000	※AsCNPプログラムには参加不可
Accompanying Person	5名	5,000	25,000	
2.懇親会費	200名		1,000,000	※国内学会のみの参加者分
3.プログラム抄録集販売	10冊		30,000	
4.ランチョンセミナー	17枠		46,431,000	※別紙③参照
5.スポンサードシンポジウム	10枠		28,182,000	※別紙③参照
6.企業展示	13小間		3,498,000	
7.抄録集広告掲載費(JSNP/JSCNP 日本語版)	17枠		1,771,200	
8.抄録集広告掲載費(AsCNP 英語版)	8枠		1,015,200	
9.年会ホームページバナー広告費	5枠	108,000	540,000	
10.寄付金・助成金			10,000,000	
日本製薬団体連合会	1式	8,000,000	8,000,000	
福岡観光コンベンションビューロー	1式	1,250,000	1,250,000	
その他	1式	750,000	750,000	
合計			136,327,400	

<支出の部>		
項目		合計
1.会議準備費		35,404,440
1) 運営事務局人件費		7,516,800
2) 印刷物等制作費		12,436,722
3) ホームページ作成費		2,392,200
4) 事前参加登録・演題登録システム費		1,879,200
5) 事務費		3,942,648
6) 通信運搬費		3,392,440
7) 会議費等		1,600,000
8) 広報活動費		2,244,430
2.会議当日費		93,637,876
1) 会場費		19,773,426
2) 当日運営人件費		9,482,200
3) 映像機材費		16,496,150
4) 看板装飾費		6,171,000
5) 展示会関係費		1,259,500
6) その他備品費		215,600
7) 会合関係費		11,000,000
8) 招聘関係費		28,040,000
9) 企画費		1,200,000
3.事後処理費		659,600
1) 事務費		330,000
2) 通信費		129,600
3) 会議費		200,000
4.業務委託費		6,551,446
1) 業務委託マネジメント費		6,551,446
	小計	136,253,362
	予備費	74,038
合計		136,327,400

寄付金募集要項

1. **大会名称：** 第49回日本神経精神薬理学会年会 (JSNP2019)
第29回日本臨床精神神経薬理学会年会 (JSCNP2019)
第6回アジア神経精神薬理学会大会 (AsCNP2019)
2. **募集期間：** 2018年2月1日 (木) ~ 2019年10月10日 (木)
3. **募金目標額：** 10,000,000円
4. **募金対象先：** 企業・団体・個人
5. **寄付金の使途：** 第49回日本神経精神薬理学会年会 (JSNP2019)、
第29回日本臨床精神神経薬理学会年会 (JSCNP2019)、
第6回アジア神経精神薬理学会大会 (AsCNP2019)、
の開催、運営費に充当させていただきます。
6. **募金責任者：** 第6回アジア神経精神薬理学会大会 (AsCNP2019) 会長
池田 和隆 (公益財団法人東京都医学総合研究所)
7. **申込方法：** 別紙「寄付申込書」に必要事項をご記入の上、下記の送付先へFAX
またはE-mailにてお申しください。寄付金は下記口座へお振込みください。

銀行名：三菱東京UFJ銀行
支店名：神保町支店
口座番号：(普) 0986177
口座名義：AsCNP/JSNP/JSCNP2019 代表 池田 和隆
フリガナ：エーエスシーエヌピー/ジェイエスエヌピー/ジェイエスシーエヌピー
ニセンジュウキウ ダイヒョウ イケダ カズタカ
8. **その他：** 寄付金に対する税制上の優遇措置はございませんのでご了承ください。
日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」
に基づき、学会等の会合開催費用の支援としての学会寄付、学会共催費に
関する情報を各企業が自社のウェブサイト等を通じて公表することに伴い、
第6回アジア神経精神薬理学会大会に関する費用について公表されることを
了承いたします。
9. **申込・お問合せ：** AsCNP/JSNP/JSCNP2019事務局
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-4
一ツ橋別館4階 (株式会社エー・イー企画 内)
Tel : 03-3230-2744 Fax : 03-3230-2479
E-mail : ascnp2019@aeplan.co.jp

【ご提出】 FAX 03-3230-2479
E-mail ascnp2019@aeplan.co.jp

AsCNP/JSNP/JSCNP2019事務局
株式会社 エー・イー・企画 宛
申込締切：2019年10月10日（木）

年 月 日

**第49回日本神経精神薬理学会年会（JSNP2019）
第29回日本臨床精神神経薬理学会年会（JSCNP2019）
第6回アジア神経精神薬理学会大会（AsCNP2019）
寄付申込書**

AsCNP/JSNP/JSCNP2019事務局 宛

AsCNP/JSNP/JSCNP2019開催の趣旨に賛同し、下記金額を寄付金として申し込みます。

金 _____ 円也

口座振込予定日： _____ 年 月 日

貴社名/ 寄付者個人名	和文	
	英文	
住所	(〒 _____)	
ご担当者	氏名	TEL.
	所属部課	FAX.
	E-mail ※必須：お申込み後はE-mailでのご案内がございます。	

■ 備考

--